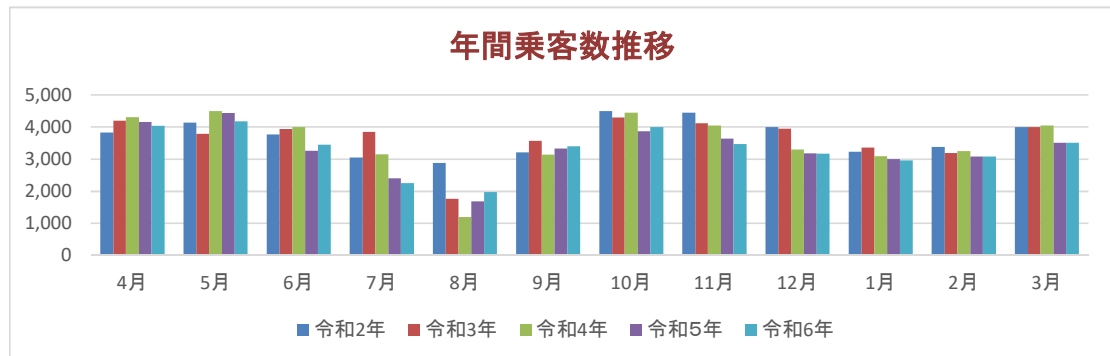
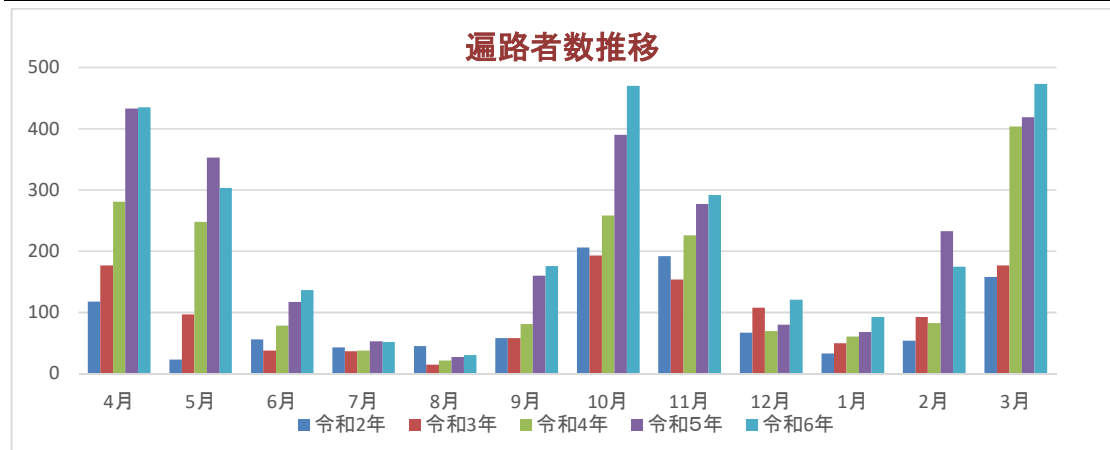


輸送月	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
4月	3,829	4,204	4,312	4,160	4,041
5月	4,144	3,788	4,497	4,445	4,180
6月	3,772	3,938	4,001	3,269	3,452
7月	3,050	3,853	3,156	2,397	2,257
8月	2,884	1,768	1,198	1,690	1,974
9月	3,213	3,575	3,138	3,334	3,401
10月	4,497	4,297	4,453	3,878	3,992
11月	4,448	4,127	4,043	3,647	3,475
12月	3,994	3,948	3,296	3,182	3,175
1月	3,234	3,364	3,096	2,999	2,969
2月	3,381	3,190	3,248	3,083	3,088
3月	3,993	3,997	4,045	3,518	3,508
合計	44,439	44,049	42,483	39,602	39,512



輸送月	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
4月	118	177	281	433	435
5月	23	97	248	353	303
6月	56	38	79	117	137
7月	43	37	38	53	52
8月	45	15	22	27	31
9月	58	58	81	160	176
10月	206	193	258	390	470
11月	192	154	226	277	292
12月	67	108	70	80	121
1月	33	50	61	68	93
2月	54	93	83	233	175
3月	158	177	404	419	473
合計	1,053	1,197	1,851	2,610	2,758



令和6年度の年間乗客数は昨年とほぼ同数で推移、下げ止まりの傾向が如実に表れつつあります。長浜・種崎渡船場周辺の過疎化や若い家族世代の高台への住宅建築や少子化による学生の減少、地場産業の造船および漁業者の担い手不足等が要因ではないかと思われます。

近年乗船者の渡船利用状況を見ますと家族での渡船遊覧、自転車ツーリング、釣り竿を持参した若者等多様な乗船客を見かけます。豪華客船の入港隻数も増加し外国人の乗船も増えています。遍路乗船者は、減少していた乗船者数も毎年増加、春・秋の渡船風物詩として彩られています。

近年、各国の老若男女外人遍路者数の急増には驚きを隠せません。パワーアップを感じています。令和7年7月1日就航予定の電気新船「浦戸」が完成、安全運航確保の観点から日々習熟訓練を重ね乗船客の皆様へ電気船を体感していただき新たな感動を体験していただきたいと思います。

今年度も乗船客の皆様へ安全安心を提供できる体制を確立して乗船をお持ちしています。